様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○市場ニーズの把握
主な取組	観光統計実態調査		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・国内及びアジア展開や外国人観光客等の増加を踏まえ、観光業における実態調査を行い、市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応する県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光統計実態調査を実施し、成果指標である「持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合」を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査する。	県	観光統計実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光統計実態調査の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課　【　098-866-2763　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/jittai_top.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	県民・観光客実態調査事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	56,364	56,275

予算事業名	県民・観光客実態調査事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	51,752

令和6年度活動内容

観光統計実態調査を実施し、成果指標である一人当たり消費額（土産・買物費、飲食費）を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査した。

令和7年度活動計画

観光統計実態調査を実施し、成果指標である一人当たり消費額（土産・買物費、飲食費）を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査する。

活動指標名	観光統計実態調査の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光客へのアンケート調査を１回実施した。
	―	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光統計実態調査を実施できたことにより目標値を達成した。また、本調査の実施により、施策の企画・立案を促進した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に引き続き努める。	○　通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整を行った。アンケート調査票の設置箇所を検討するなど、回収数の向上に引き続き努めた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	回収数の向上に向けてさらなる工夫を検討するとともに、調査方法や掲示物等変更等が伴う場合、各空港側の確認や調整が改めて必要となる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	回収数の向上のため観光客が意識しやすいようにデザイン変更を検討するとともに、円滑に調査が実施できるよう、各空港側との調整を丁寧に行っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○市場ニーズの把握
主な取組	観光産業実態調査		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・国内及びアジア展開や外国人観光客等の増加を踏まえ、観光業における実態調査を行い、市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応する県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光関連事業者を対象としたアンケート調査等の実施により、観光産業の現状と課題を把握する。	県	観光産業実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光産業の実態調査等の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課　【　098-866-2763　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/kankotokusan/1011671/1011816/1011823/index.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光産業実態調査事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	7,143	7,172

令和6年度活動内容

観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析した。

予算事業名	観光産業実態調査事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,414

令和7年度活動計画

観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析する。

活動指標名	観光産業の実態調査等の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		景況感を中心とした観光関連事業者の現状・課題の把握を目的とした調査を７月、９月、12月の計３回実施した。また、第６次沖縄県観光振興基本計画に係る成果指標調査を７月に実施した。
	1回	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
景況感調査については延べ4500事業者に調査票を送付し、成果指標調査については239事業者に調査票を送付した。また、景況感調査に付随する特別調査については、関係課と連携し、より効果的な調査の実施につながった。その結果、計画どおり調査を実施できたことで施策の企画・立案を促進し、目標値達成により順調と判断した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　アンケート調査においては、設問の工夫を継続するとともに、Web上での回答を拡充することで、一定の回答数を確保する。 ○　観光関連事業者の繁忙期なども考慮しつつ、調査時期の見直しや調査項目の簡略化などを検討する。	○　アンケート調査においては、設問・選択肢を追加しつつ、一部の設問の統合・削除を進めて回答者の負担軽減を図った。また、成果指標調査においては、回答者にメールで調査結果をフィードバックする取組を始めたことでオンラインを促進するとともに、回答数の確保を図った。 ○　成果指標調査について、事業の検証や施策の企画・立案に資するため前年度より時期を早めて実施したが、夏季の繁忙期に重なったため、回答率は前回の微増にとどまった。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	成果指標調査の時期が業界の繁忙期と重なったため、調査の工夫を講じたものの回答率は微増にとどまった。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	回答率向上のため引き続き設問を工夫するとともに、成果指標調査については、夏季の繁忙期前の調査開始を目指して、さらなる回答率向上を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○体験交流型観光等の各種ツーリズムの推進
主な取組	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・また、観光産業と他産業をつなぐコーディネート機能を強化するほか、島しょ地域の特性を生かした体験交流型観光等の各種ツーリズムを推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	観光コンテンツ開発への支援		
		観光コンテンツ開発支援件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	83,520	83,668

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	89,723

令和6年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者１１件を支援した。

令和7年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名	観光コンテンツ開発支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	15件	11件（26件）	11件（37件）	10件（30件）	100.0%	順調	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する観光コンテンツ開発やMICEメニュー開発を11件支援し、目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う。 ○商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。	○事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、地域周遊型コンテンツ造成等、持続可能なコンテンツ開発を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツ開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要であり、自走化と収益化を意識した取組が必要。
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業の継続性を意識して、事業者自身で販売できる販路を確保する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、また周辺事業所との連携したエリアへの波及効果が高く、持続可能なコンテンツ開発を行う。
⑦ 取組の時期・対象の改善	ツーリズムEXPOジャパンといった観光関係の大型商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。